

鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年9月検出分 検体採取 令和7年8月及び9月)

令和7年10月17日
鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体74件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63（※）

○検査対象（細菌）

百日咳菌、*Bordetella holmesii*、*B. parapertussis*（※）、マイコプラズマ（※）

※印は5月21日搬入検体分より実施。

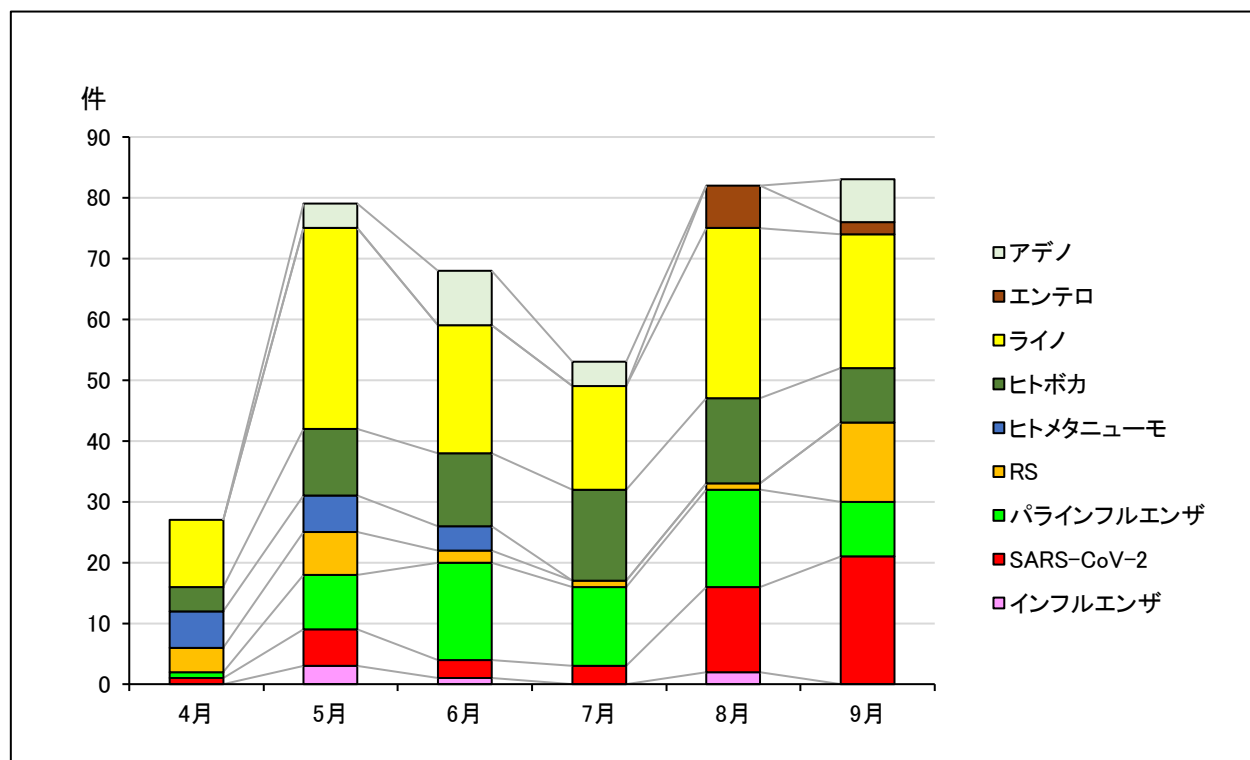
○検出結果

74件中59検体（80％）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：22件、ボカ：9件、SARS-CoV-2：21件、パラインフルエンザ2：6件、パラインフルエンザ4：3件、エンテロ：2件、アデノ：1件、マイコプラズマ：4件、RS-A型：1件、RS-B型：7件であった。4月から9月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～9月検出分）

病原体年齢別検出数（検出月/累積）																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤		合計	
標本数	29	156	5	24	1	8	7	25	12	55	11	75	9	32	74	375
ライノ	18	93	1	10		4	1	6	1	10	1	8		1	22	132
ボカ	8	60		1			1	1				2		1	9	65
ヒトメタニューモ		9								1		6			0	16
RS-A	1	1								1		2			1	4
RS-B	3	12		1			1	1	1	1	1	2	1	2	7	19
SARS-CoV-2	1	6		1	1	1	1	4	5	8	7	18	6	10	21	48
パラインフルエンザ1		1										1			0	2
パラインフルエンザ2	3	4	1	1							2	2			6	7
パラインフルエンザ3		15								6		6		5	0	32
パラインフルエンザ4	2	19		1						1		2	1	1	3	24
アデノ	1	15		1				2							1	18
エンテロ	2	9													2	9
インフルエンザA型										1					0	1
インフルエンザB型		1				2		1		1					0	5
百日咳				1								1			0	2
コロナNL63		2										1			0	3
マイコプラズマ	3	5		1		1	1	1		1					4	9
検出せず	2	13	3	8		1	3	13	5	24	1	27	1	12	15	98

図 1. 月別主要ウイルス検出状況（令和 7 年 4 月～9 月検出分）



アデノウイルスは C 種 1 型が 1 件であった。アデノウイルス C 種 1 型は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

SARS-CoV-2 の系統は表 2 に示すとおり、NB. 1. 8. 1 が 4 件、PQ. 2 が 1 件、PQ. 17 が 4 件、XFG が 1 件、XFG. 21 が 1 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統と、その下位系統である PQ. 2 や PQ. 17 が大多数を占めている。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 9 月検出分（11 件））

検体採取年月日	年齢	型別
R7. 8. 20	20 代	PQ. 17
R7. 8. 22	80 歳以上	XFG. 21
R7. 8. 24	80 歳以上	PQ. 17
R7. 8. 25	80 歳以上	NB. 1. 8. 1
R7. 8. 27	80 歳以上	NB. 1. 8. 1
R7. 8. 28	80 歳以上	NB. 1. 8. 1
R7. 8. 29	60 代	PQ. 17
R7. 8. 30	40 代	PQ. 17
R7. 8. 20	70 代	XFG
R7. 9. 1	50 代	PQ. 2
R7. 9. 1	60 代	NB. 1. 8. 1

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 12 件について検査を行ったところ、アデノウイルス（F 種 40/41 型）が 1 件、サポウイルスが 6 件検出された。アデノウイルス F 種 40/41 型は感染性胃腸炎の原因となるウイルスである。ノロウイルスは検出されなかった。

3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 6 件について検査を行ったところ、A 群溶血性レンサ球菌が 3 件（T 型別は 2 件：B3264 型、1 件：4 型）分離された。B3264 型及び 4 型は咽頭炎で多くみられる型である。

4 細菌性髄膜炎

臨床診断名が細菌性髄膜炎の 1 件（新生児、髄液）について検査を行ったところ、B 群レンサ球菌（*Streptococcus agalactiae*）や大腸菌等の原因菌と考えられる菌は検出されなかった。

5 RS ウイルス感染症

臨床診断名が R S ウイルス感染症の 5 件について検査を行ったところ、RS ウイルス A 型が 1 件、B 型が 4 件検出された。

6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の 3 件について検査を行ったところ、アデノウイルスが 3 件（1 件：D 種 8 型、2 件：D 種 54 型）検出された。D 種 8 型及び D 種 54 型は流行性角結膜炎の原因ウイルスである。